



いきいきふるさと

発行/古里住民自治協議会 発行者/小林 元志 編集/広報委員会 第77号

令和6年度 やさしさとふれあいの集い

住自協最大の
イベント
全部会一丸で
行いました!

プログラム

日時 11月10日(日) 9:00~12:30

会場 古里総合市民センター(屋内・屋外)

【開会式】9:00

【物品等販売】・りんご、白菜、大根、米などが大特価
・古里子どもカフェのフリーマーケット(衣料品など)

【もちつき大会】9:30(小学生限定)

【室内演奏会】9:30 出演・古里小学校マーチングバンド部

・徳間小学校 金管バンド
・ナウイ・ハワイアンズ ほか

サイまるくんも登場!!



©三オ駅キャラクター「サイまる」

大好評!



機械増設必要か

ポップコーン



子ども餅つき

子どもたちが
餅つき体験に
大喜び!



今年も大盛況!!



野菜販売



古里小学校
マーチングバンド部



徳間小学校金管バンド部

演奏会



ナウイ・ハワイアンズ

令和6年度の活動を振り返って 文化教育部会

令和7年古里地区成人祝賀会 ～二十歳のつどい～



新春1月2日(木)古里総合市民センターにて、古里地区成人祝賀式が開催され新成人89名が出席されました。新型コロナウイルス感染症も5類に移行となりましたが、座席レイアウト等昨年に準じて対策を取り、古里公民館、白バラ会、赤十字奉仕団、公民館活動委員会、広報委員会他、実行委員総勢42名で準備、開催されました。

全体記念撮影後、式典は「古里の歌」の合唱から始まり、住民自治協議会の小林会長の式辞、荻原長野市長のビデオメッセージ。そして来賓祝辞は勝山県議会議員よりいただきました。

成人代表の言葉は、下駒沢の小林大起さんから力強い決意表明がありました。

祝賀会アトラクションでは、西富竹「神楽保存会」による獅子舞で盛り上げていただき、肌寒い日ではありますが、式典後会場の内外は久しぶりに再会した友人との会話が弾み、いつまでもにぎやかな声と笑顔が続いていました。

今年成人式を迎えられた方々は、中学・高校とコロナの影響を大きく受けた皆さんです。複雑な国際情勢、経済環境の中ですが、この日を忘れずに新たな気持ちで自分の夢に向かって走り続けて下さい。



他にもたくさんイベントを開催しました

5月から始まった東北中「あいさつ運動」8月「新潟少年学院視察研修」。10月からの「マレットゴルフ大会」「チャレンジ・ザ・ゲーム」「古里地区球技大会」「やさしさとふれあいの集い」「人権住民集会」「成人祝賀式-二十歳のつどい-」と続いた令和6年度文化教育部会の活動も終了となります。古里公民館長、青少年育成委員会、公民館活動委員会、育成会活動委員会、人権共生委員会、各委員長はじめ大勢の方々にご苦労を頂き、すべての事業を完了することができました。

心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

なお、2月には以下の楽しい行事も予定されております。

囲碁将棋大会、かるた大会2月11日(祝)、
ふるさと芸能祭2月15日(土)



令和6年度 古里地区人権集会を振り返って 人権共生委員

人権共生委員会は、人権週間(12月4～10日)に合わせて、「古里地区人権住民集会」を開催しており、今年は、12月8日(日)に約80名のご参加を得て開催しました。

第1部は、小中学校の児童・生徒の皆さんによる発表で、人権について一生懸命学習に取り組み、しっかりした考えを身に付けておられることが伝わってきました。

第2部、人権啓発ビデオの視聴では、人が抱えている障害や状況は、それぞれに違う性質・思い・感情を持ち見えにくいので、周りの人は一概にあてはめず状況や気持ちをしっかり理解し受け止めた対応が大切との内容でした。

第3部、長野マンドリンクラブの皆さんの演奏は、迫力ある演奏ながら優しく温かい音色で心に癒しと感動を届けていただき、音楽の人をやさしくしてくれる魅力は、人権尊重の心にも通じるものがありました。

開催概要につきましては、今後ホームページで公表しますので、ご覧いただければ幸いです。多くの皆さんにご参加いただき、本当にありがとうございました。



令和6年度 古里地区公民館親善球技大会 公民館活動委員

今年の大会は、秋期の10月27日(日)に開催しました。

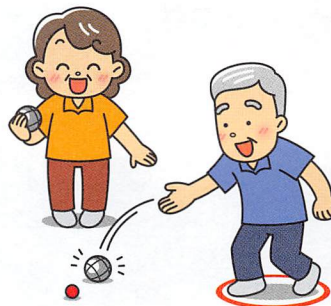
例年の開催時期8月下旬を変更したのですが、昨年度の事後反省で、「参加者の健康面を考慮して、炎暑時期を避けて実施すべき」との意見が多く寄せられたことを受けての措置でした。結果として、気候的には申し分なく、選手の皆さんからも好評をいただきましたので、今後も定着させてゆくべきと思いました。

競技面では、ソフトバレーボールで出場チーム数が少ないため、選手の出場要件の緩和要望が寄せられました。今後の検討課題として、早急な結論が求められます。

また、種目によっては選手を集めるのが困難という公民館もあるので、今後の実施種目についても検討するのを感じました。

総体的には、各種目共に熱戦が繰り広げられました。事故もなく無事に大会が運営され、地域選手間の友好親善が図られ、大会の目的は十分に達せられたものと思います。

参加された選手の皆様、運営に携わられた役員の皆様、大変にご苦労様でした。そして有り難うございました。



野球



ペタンク

挨拶と報告 福祉・健康部会

令和6年度も残り少なくなりました。

福祉・健康部会の活動へのご理解・ご協力により、事業計画も順調に進んでおります。

社会を明るくする運動(三部会共催)・介護者のつどい講演会・ふれあい健康づくり講演会・やさしさとふれあいの集い・古里地区福祉大会・健康講座(らくらく健康体操教室)支え合い活動・ふるさとの縁側・子育てサロン等へのご参加・ご協力にお礼申し上げます。

委員会の皆さんには企画の打合せ・準備を行っていただき、ありがとうございました。

また委員会の皆さんには各地区で、健康体操やお茶のみサロン開催、出前健康講座・電話でお金詐欺の対応の企画など、地域の方々とのふれあいの機会をつくっていただきました。

新型コロナウイルス感染症が5類になり、講演会への参加者も多くなりました。

参加者のアンケートを参考にして、時間帯調整・曜日の検討、意見の考慮を行いました。また、やさしさとふれあいの集いでポップコーンは好評でお子さんの行列が絶える事なく並んでいる状態でしたので次年度はポップコーン機械の増設も考えなければと思います。

古里地区福祉大会において昨年度は認知症について学びましたが、より一層理解していただきたく、今年度も「認知症サポーター養成講座」として宇宙(そら)カフェを行っています。

「宇宙(そら)カフェ」オレンジカフェ開設から1年の活動報告・認知症の方への対応などキャラバンメイト宇宙(そら)様による寸劇により理解を深めます。認知症について講演会終了後「認知症サポーターカード」が交付されます。



ふるさと宇宙カフェとは

ふるさと宇宙カフェは、一般的にはオレンジカフェとか認知症カフェと呼ばれているカフェです。認知症に関連するすべての皆さんが集えるカフェで、認知症の方と家族はもちろん、地域の方どなたでも気軽に参加して頂けます。

お茶を飲みながらの会話の他、脳トレ、麻雀、囲碁、将棋など楽しいことが待っています!

たくさんの笑顔を作りましょう。運営のお手伝い、参加者の方との話し相手など、ボランティアさんも大歓迎です。介護等の相談にも専門家がお答えします。(看護師・社会福祉士・介護支援専門員、等)

日時: 毎月第2火曜日

場所: ケアサポート太陽

駐車場: ケアサポート太陽北側、デイサービス太陽東側

料金: 100円



オレンジカフェ OPEN!!

ふるさと宇宙カフェ

どなたでもご利用できます!

火 OPEN!

お問い合わせ 長野市地域包括支援センター富竹の里
TEL 026-295-7780

日時 **毎月第2火曜日** みどりあふれる田園地区、富竹・全穂のふるさと地区に、認知症に関連する、全ての皆さんと集えるカフェをオープン致します。気軽に遊びに来て頂きたいです! 麻雀・囲碁・将棋も出来ますよ! たくさんのお笑顔をみましょう。

場所 **ケアサポート太陽**
〒380-0007 長野市金箱 141
TEL 026-217-4150

駐車場 ケアサポート太陽 北側
デイサービス太陽 東側

利用料 100円



令和6年度総務部会活動について振り返り 総務部会

本年度も「誰もがこの地に住むことに誇りを感じ夢と希望が持てる地域づくり」を目指し各種事業を推進してきました。新型コロナウイルス感染症も一部に影響があるものの、ほぼ平常に戻り人と人との交流やふれあいを大切にしてきました。こうした中で、中核事業を柱に少子高齢化や地震・水害などの非常時対応等、取組む課題に地域住民・行政区と連携して「誰もが安心して生活できる安全な地域づくり」をめざし事業を推進してきました。

総務部会では、毎月開催される会議で、各部会、支部(区)及び関係諸団体との連携を図り、それぞれの活動が円滑に進むよう組織運営を進め、住民自治協議会や関係諸団体の事業内容等をお知らせする広報活動と環境美化活動を実践しました。

具体的には以下の活動を行いました。

- 市・県など行政機関との連携～古里地区の土木工事要望書提出・現地調査
- 住民自治協議会の組織・運営の統括 ○支部活動の充実～支部(区)との連携強化取り組み
- 広報誌「いきいきふるさと」の発行(年3回の発行) ○環境美化活動の推進(ごみゼロ運動、河川清掃の実施)



令和6年度の活動と今後 ふるさと部会

令和6年度、皆様のお知恵とご協力で、事業計画を順調に進めることができおり、誠にありがとうございます。

3月の初顔合わせからスタートし、定例役員会でコミュニケーションを深め、6月にはホテル観賞会を行い、140人ほどの皆様にお集まりいただきました。夜間の開催であったため安全を最優先に取り組みました。

また、「ふるさと委員会」の皆様と懇親を深め、役員同志互いの距離が縮まり、信頼という財産が増えたと感じました。

11月の「やさしさとふれあいの集い」では「餅つき大会」を開催することができ、子供たちが杵による餅つきを体験し、更にその餅をお並びいただいた大勢の方々にお配りできました事など、皆様のご協力があったの活動でした。

今年を振り返ると、ふるさと部会の役員はもとより、他役員方々の御協力を頂きました。ありがとうございました。来年に向けては、新たな皆様のご活躍に託すためしっかりとバトンタッチをしたいと考えております。



令和6年度 安心安全部会振り返り 安心安全部会

今年度も残りわずかとなりましたが、安心安全部会は地域の皆様方と共に災害に備えた防災体制の構築を活動方針にかかげて活動してまいりました。各地区役員による白線引きを始め、カーブミラーの清掃及び防犯パトロールの実施や、毎月行われる交通安全街頭啓発マナーアップ運動など、「子供を守る会」の皆様方と一緒に活動させていただきました。区民の皆様はもとより通学の子供達の笑顔での挨拶「おはようございます」がとてもさわやかで新鮮に感じました。

そして、「社会を明るくする運動」講演会では各関係団体の協力で行なわれ、改めて更生保護観察官の地味な活動状況をお聞きしたことで、私達に何ができるのか考えさせられました。また、当部会の主要事業である防災訓練を8月24日に各地区自主防災会のご協力を得ながら実施致しましたが、災害はいつどこで起こるか全くわかりません。最近の異常気象、自然災害を常に意識しながら災害への万全な備えをしていただきたいと思います。

最後に、関係者各位におかれましては絶大なるご協力をいただき心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



令和6年度 住民自治協議会活動について 自治協議会

会長 小林 元志

私たちの生活スタイルを一変させた新型コロナウイルス感染症の影響はほぼ無くなり生活は平穏を取り戻してまいりました。

本年度も「誰もがこの地に住むことに誇りを感じ夢と希望が持てる地域づくり」を目指し事業計画に基づき各種事業を推進し、少子高齢化や地震・水害などの非常時対応等の中核事業を実現するため、地域住民・行政区と連携して、各部会がそれぞれの各事業のテーマのもと事業を実施しました。

中でも住民自治協議会の最大のイベントである「やさしさとふれあいの集い」は、多くの地域住民に参加いただき、笑顔のある地域住民の交流を行うことができました。

今後も住民自治協議会の活動について、現状を把握し事業を継続するものは継続し、改革が必要なものは見直しを行い、夢と希望が持てる地域づくりを目指し取り組んでまいりたいと思います。

昨年の振り返りと令和7年度に向けて

古里支所長 塚田 勝彦

昨年を振り返ると、年明け早々の石川県能登半島地震に始まり、その後も全国各地で豪雨による被害が頻発するなど、大きな災害が印象に残る年となりました。また、長期化する物価の高騰などにより、皆様の生活や経済に大きな影響が出た年でもありました。

長野市に目を向けると、当古里地区でも被害がありました令和元年東日本台風災害から5年が経過する中、復興に向けた取り組みを順調に進めるとともに、新たにながのこども館「ながノビ!」や豊野防災交流センターの整備など、様々な施策に取り組んでまいりました。

また、コロナ過により縮小されていた事業が徐々に以前の形に戻りつつあり、ようやく本来の住自協活動ができるようになってきたのではないかと感じています。

さて、住民自治活動における住民と行政の適切な役割分担、量と質の見直しを図るため、令和5年度から取り組んでおります「住民自治リフレッシュプロジェクト」につきましては、昨年から本格的に様々な見直しについての議論を深め、今後幾つかの見直しを行う方向性がまとまりつつあります。令和7年度にはそれらの内容を更に具体的なものとして検討を行った上で、変更可能な部分から随時対応してまいります。

今後も適正な住民自治の構築に向け、住民自治協議会の皆様と一体となって取り組んでいく所存ですので、引き続き地域の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

令和6年を振り返って

古里公民館長 宮沢 英夫

令和6年の干支であった辰(龍)は、十二支の中では唯一空想上の生き物で、古くから水の神として火から守る役目を果たすと言われていました。

そうしたことに関係あるか分かりませんが、長野市内の火災件数も、消防局の速報値で99件と、前年より37件減少したとのことでした。(実際には地域の皆さんの御協力のおかげです。)

しかし、新年の幕開けは、能登地方で大きな地震に伴う大規模な火災が発生、さらに翌日、その支援に向かう飛行機と旅客機の衝突炎上事故が発生するなど、衝撃的な年開けとなりました。

一方、高速時代の新たな象徴として開通した、東海道新幹線の開業から60年の節目とともに、北陸新幹線が金沢から敦賀まで延伸開業した他、新しい紙幣も発行され、パリオリンピック・パラリンピックや大リーグなどの海外スポーツリーグでの日本人選手の活躍など、様々な方面での新たな発展を感じられた方も多かったと思います。

また、気象庁から、年間平均気温が観測開始以来最高との発表もあり、年間を通して前年以上に暑い年となりました。

そうした中、前年4年ぶりに開催した親善球技大会を、公民館活動委員会等関係者の御尽力により、本年度から夏から秋に開催時期を変更したことで、選手の体調面などに配慮した大会を開催することができ、感動的で賑やかな光景を見ることができました。

今後も、地域の公民館として住民自治協議会の御協力を得ながら、皆様に親しんでいただけるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

古里住民自治協議会ホームページで最新情報を

古里住民自治協議会の活動情報・古里地区の情報等をご覧ください。

公式Webサイト <https://www.furusato.nagano.jp/>

Check!



スマートフォンはこちらから!